

Before



上流から下流、  
ゆるやかに。

矢作川の支川(※1)でアユ等が多く遡上する籠川。矢作川合流点から5.7kmの間に支障となる落差が12箇所あり、上下流の連続性を改善することが課題でした。既設落差工を自然石を用いてプール状の多段式落差工に改良。土砂移動の多い河川であったことから全断面魚道(※2)として、上下流の連続性を確保することとしました。現在、下流から10箇所目まで魚道の設置が完了し、約4.5kmの区間で魚等の上下流の移動が可能となっています。

※1 本川（流量、長さ、流域の大きさなどがもっとも重要と考えられる川、あるいは最長の川）に合流する川。

※2 川幅の横断方向全体に設置する魚道。



N35度7分37秒 E137度9分29秒  
(35.127,137.158)



After

# 矢作川水系籠川

Yahagigawasuikei KAGOGAWA